

令和 6 年

11 月号

No.661

法音

日蓮宗

法音寺

今月の
ご法話

感謝すると脳が活性化します

悦可衆心

よい教えを伝えよう
おし つた

今日一日、

人に感謝しましょう

今日一日、

人に親切にしましょう

今日一日、

人を善に導きましょう

月刊・法音 令和6年11月号 No.661 目次

【信仰の指針】無我^{むが} 私心のない行いが大事です 1

【朝のこない夜はない】感謝すると脳が活性化します 山首 鈴木正修 2

◆講日のご案内 19

◆有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 20

◆五十萬巻 御報恩納経 妙法蓮華経 久遠偈 22

◆仏教漫画『日蓮さま』・③阿仏房と千日尼 23

◆阿仏房と千日尼 31

◆お寺の本棚 32

◆常寂光土への誘い⁽²⁸⁾ 34

◆季刊誌ひなた 37

◆知つているようで知らなかった!?法音寺のこと 番外編 38

◆のりのね体験 52

◆支院だより 54

◆福祉のひろば 77

○幸せのお手伝い 78

○昭徳会・交流も深められた内定式 80

○日本福祉大学・第36回社会福祉セミナー in 静岡開催のご案内 82

◆賛助員ご芳名 84

◆幸せの種まき／編集後記 88

◆連載まんが・ひまわり・142 反省は持ち帰り禁止 89

◆法音寺の社会福祉・教育事業

掲載写真 表紙・信仰の指針 3頁・19頁・梅田雅臣氏撮影

2頁・加納将人氏撮影
表紙写真・キンモクセイ

信仰の指針

無我^むが^が

私心のない行いが

大事です

日教五

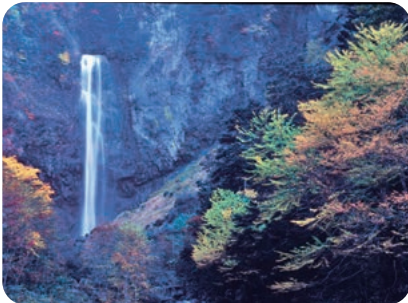


朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

感謝かんしゃすると脳のうが活性化かつせいします

まず『武士道』の著者として有名な新渡戸稲造博士の言葉を紹介します。『世渡りの道』という本にある言葉です。「とにかく物事には明暗の両方面がある。私は光明の方面から見たい。そうすれば、おのずから愉快な念が湧いてくる。人がその生涯の中で遭遇する物事は、善意にも悪意にも解せられるものが多く、物そのものの、事そのこと自体は絶対に善でもなく悪でもない場合が多い。したがって、人生なるものはめいめいの心の置きよう、すなわち心の持ちようによって、どうにでも取れる。世の中がうるさいと思えば、いたたまれないほどにうるさいし、結構だと思えば、御礼の申し上げようもないほど結構になる。ゆえに私は、世に処するに善意をもってし、『チアフル』（愉快）に世



渡りしたい」

物事は新渡戸博士が言われるように、善にも悪にも解釈
できることが多いように思っています。

今回は物事を明るく見ることが人生にとってプラスにな
るという話をします。

プラス思考、マイナス思考ということをよく聞きます。

よく例に挙げられるのが、いっぱいに入っているコップの
水を飲んで半分になった時、もう半分になってしまった
と思う人がマイナス思考の人、もう半分もあると思う
人がプラス思考の人ということです。

アメリカの大学で50歳の人を対象に、「もう50歳」と
思いますが、それとも「まだ50歳」と思いますが」という
質問をしました。そして回答者達のその後の寿命を追跡調
査したところ、まだ50歳と答えたプラス思考の人の方が



「もう50歳」と答えたマイナス思考の人より平均で十年以上長生きだったそうです。

また、イギリスの大学では修道女を対象にした調査をしました。修道女は、暴飲暴食や酒・ギャンブル・煙草といった心身に悪いことを一切しない、非常に健康的で規則的な生活をします。基本的には恋愛も結婚もしません。そういう修道女は、一般の人よりもみな寿命が長いらしいのです。その修道女を対象に、プラス思考・マイナス思考の調査をしました。修道院に入ってきた時の動機を書いたものがあつたので、それを見てプラス思考・マイナス思考に分けました。プラス思考に分類されたのは、「神に仕え、世のため人のために尽くしたい」と書いていた人です。もう一方のマイナス思考の方は「世の中が嫌だ。修道院に逃げ込みたい」と書いていた人です。この調査の結果、非常に



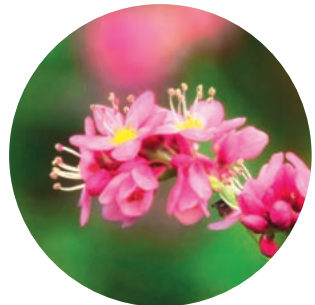
健康的な生活けんこうてき せいかつをしている修道女しゅうどうじょでも、プラス思考しこうの人の方ひとがマイナス思考しこうの人より十年以上寿命ねんいじょうじゅみょうが長ながかったということです。

この調査ちようさをした大学だいがくの先生せんせいが言いっています。

「禁煙きんえんによって延のびる寿命じゅみょうは大体三〇四年だいたい ねんぐらいと言いわれている。それが明あかるい世界せかい観かんを持もつことで十年寿命ねんじゅみょうが延のびる。これは非常ひじょうに注目ちゅうもくに値あたすることだ」

その通りとおだと思おもいます。

杉山先生すぎやませんせいや御開山上人ごかいさんしやうにんは、「良よいところを見みつけて、とにかく人ひとをほめなさい」と言いわれました。子こどもを育そだてる時ときは特とくに大だい事じになります。ほめることはプラス思考しこうで、叱しかりつけることはマイナス思考しこうなのです。



イギリスの大学で行った禁煙プログラムの実験です。平均して二十年以上、一日10本程度の喫煙習慣があつて今後禁煙を考えている人を600人集め、300人ずつ2つのグループに分けました。一方はほめるグループ、もう片方は叱るグループです。ほめるグループでは「昨日はどうでした? (煙草を) 吸いましたか?」「吸ってしまいました」「何本ですか?」「8本です」「あつ、2本も減りましたね。よく頑張りましたね。明日はもう1本減らしましょう」「はい、頑張ります」という感じですが、一方、叱るグループでは「昨日は吸いましたか?」「いやあ、吸ってしまいました」「全くダメですね!」と叱りつけました。

しばらく続けていくと、禁煙を我慢できなくなつて、半分の300人がほめる・叱るに関係なく離脱しました。禁煙はなかなかむずかしいものです。残りの300人が頑張



ってそのプログラムを続けましたが、またそこから100人が離脱し、最終的に200人が残りました。追跡調査によりますと、その200人は実験が終わった後もずっと禁煙が続いていたということです。そして、なんと全員がほめられたグループの人達だったのです。やはり、ほめることが大事だということです。

話を戻しますが、プラス思考がなぜ良いか、寿命が延びるかということですが、あるテレビ番組でお医者さんがこういうことを言っていました。

「物事を明るく捉える人は心が若いのです。心が若いと、それに伴って肉体も若くなるのです」

年をとると、物事を否定的に捉えがちになります。もう年だから駄目だ、もう年だからしょうがない、というよ



うにです。これはやはり、心が老化し、身体も老化しているのだと思います。やはり、まだまだ、と思うプラス思考が大事ではないでしょうか。

医学博士の岩崎一郎という脳科学者がいます。この方は、
「どうしたら人は幸せになれるだろう」と、脳の使い方の研究をされています。

岩崎博士は、京都大学の大学院を卒業してから、脳科学の研究が進んでいるアメリカのウィスコンシン大学に留学しました。そこで、人間の脳にはアクセルとブレーキがある、ということを知りました。脳の中で最も発達した部位である前頭前野の左側にアクセルがあり、右側にブレーキがあるそうです。アクセルというのはプラス思考で、ブレーキはマイナス思考です。アクセルが働くと、気持ち以前



向きで、行動力や集中力が高まり、ブレーキが働くと行動
や思考が抑制的になり、やる気がどんどん落ちていくとい
うことです。このブレーキの部分が強く働き続けると鬱に
なるそうです。

ウィスコンシン大学では、1000人以上の人を対象に
脳波測定装置をつけ、脳のアクセルの活性が高いのはどの
ような人なのかを調べました。その結果、フランス人のマ
シュー・リカールという人が、一番脳のアクセルが活性化
していました。この人は脳のアクセルの活性の値が普通の
人の100倍ぐらい高いことがわかりました。この人は僧
侶です。フランス人ですが、チベットのダライ・ラマ法王
のお弟子さんで、法王の通訳として世界中を回っていたと
いう人です。この人はこの実験の時、修行歴四十年程でし
た。そのリカール氏が瞑想に入ると、普段でも普通の人よ



り100倍活性化している脳が、500倍活性化したそうです。岩崎博士が言われるには、この人は脳科学的に世界で一番幸せな脳の持ち主だそうです。

ところで、リカール氏が瞑想で何をするかというと、慈悲の心で世界の平和や人の幸せを祈る〴〵ということですよ。この後に他のチベットのお坊さん達に協力をしてもらって調べてみると、リカール氏と同様に全員脳のアクセル部分が活性化していたそうです。世界平和や人々の幸せを願っている人ばかりだったということです。

岩崎博士は、「プラス思考の一番は菩薩精神だ」と言われます。「世界平和や人の幸せを祈る。この菩薩精神が一番のプラス思考、一番脳の働きにいい影響を与え、身体、健康にも良く、認知予防にも、認知改善にも良い」と言われています。



また、果てしなく広がる空間の中で、この広大な宇宙に比べたら自分はなんと小さな存在だろう。〃とったり、あるいは、登山をして山の頂に立ち、360度広がる空の下で他の山々の連なりや雲海を見渡し、ちっぽけな自分を感ずるというような、大宇宙や大自然の悠久さ、広大さを前に自分の小ささを感じずる体験を、脳科学ではAwe（オウ）体験というそうです。

岩崎博士によると、このAwe体験をしている時、その人の脳はとても活性化しているそうです。理由は、Awe体験すると自分の我（エゴ）が少なくなり、謙虚な気持ちになれるのです。謙虚になると、他者や自然の力に対して感謝の気持ちができ、その結果、前向きな心になり、〃世の中のため、誰かのために役立ちたい〃という心になるのです。この時、脳は通常の何十倍、時には何百倍も活性化



するそうです。

上野支院前主管・橋本妙富先生は、海外旅行に行かれたことがありませんでした。二十年ほど前のハワイ団参の時に「ぜひ行きましょう」とお誘いしました。「支院の留守番があるから」と躊躇されましたが、支院は他の方に任せてハワイに行かれました。そしてハワイで橋本先生が「来て良かったです。実はずっと悩んでいることがあったんですが、ハワイのこの真っ青な海を見たら、全部忘れてしまいました」と言われました。

これも一つのAWE体験ではないかと思えます。ハワイの真っ青な海を見て脳が活性化し、ああ、あんなこと、たいしたことではない々と思われたのでしょうか。

このAWE体験は、映像を見ることでも効果があるそうです。画面に映る大自然や宇宙を見ることで、軽微なAW



① 体験となり、脳の活性化につながるのだそうです。

あるテレビ番組で、ベンチャー企業の若い社長さんが、
「必ず宇宙の動画を大きな画面で見てから寝る」と言っていました。
「宇宙の動画を見てから寝ると、すぐリラックスしてよく眠れる」とのことでした。多分これもAWE
体験だったのではないかと思います。

また徳の高い人の崇高な振る舞いを見聞することもAW
① 体験となり、脳は驚くべき変化をするそうです。

岩崎博士は言われます。

「皆さんの中には筋トレ（筋力トレーニング）をされている方が
あるかと思えます。筋トレというのは、いくつになってもやればやるだけ筋力がつきます。それと同じで、脳も鍛えれば鍛えるほど活性化して、よく働くようになります。誰でも年をとると認知症になるわけではないんです。筋トレ



レを全くしないと筋肉が落ちていくのと同じで、脳も鍛えて活性化させていかないと、退化していききます。脳は鍛えれば鍛えるほど、筋トレと同じように活性化していくのです」

「ドイツの大学で平均年齢60歳の人達に協力してもらい、ジャグリングを使った実験を行いました。25人の被験者には三カ月間練習してもらい、別の25人にはジャグリングをしないでもらいました。三カ月後、それぞれのグループの人達の脳を調べると、ジャグリングを練習していた人達の、動体視力を司る脳の部分がとても活性化していることがわかったのです」

動体視力とは人や物との距離感や速度を認識する力です。動体視力は、眼球よりも脳や神経の働きで決まるもので、一般的に20歳前後にピークとなり、年齢とともに低下して



いくと言われています。動体視力は自動車の運転には不可欠なものです。

テレビに100回以上出演した栗田昌裕という医学博士がいます。この方は東京大学の理学部数学科の大学院を出た後に東京大学の医学部を卒業した人です。18歳の時に禅宗で得度をしています。また座禅・ヨガ・気功・東洋医学に精通している方で、さらに独自の速読法・SRS（スーパー・リーディング・システム）の開発者でもあります。（栗田博士は昭和62年に日本で初めて一分間に一冊の本を速読する速読の一級試験に合格しています）この速読のためには脳を活性化しなければなりません。そこで開発したのが指回し体操です。

栗田博士は「指回し体操を毎日すると脳力開発だけでなく



く、健康増進に役立つ。頭脳を刺激して老化を防ぐ。情緒が安定する。仕事の効率が上がる。美容に役立つ。身体が柔軟になる」と言っておられます。

指回し体操は指で半球形のドームを作って、まず親指だけを外してグルグル回します。前回し、後ろ回しをします。次に人差し指、中指、薬指、小指と順番にしていきます。これだけでさまざまな効果があるわけですから、やってみる価値は大いにあると思います。

最後に紹介したいのが、岩崎博士が提唱する『日常すぐにできて、とても効果的な脳磨きの方法』です。それは「感謝をすること」です。感謝をすると、脳がすごく活性化するので。感謝を言葉にすると、さらに良いそうです。その言葉を聞いた相手の脳も活性化するので。例



えば夫婦で奥さんが料理を作って出し、旦那さんが「おいしかった。ありがとうね」と言くと、言った本人の脳は当然活性化しますが、言われた奥さんの脳も活性化するということです。

岩崎博士は「感謝には恩恵的感謝と普遍的感謝がある」と言われます。恩恵的感謝とは、自分に良いことがあったと解釈できる時の感謝です。普遍的感謝とは、感謝の気持ちをいつも抱いている心のあり方です。「生きていることに感謝」「家族や仲間がいることに感謝」など、あらゆるものに感謝の気持ちを抱いている状態です。この状態がとても幸せな脳の状態だそうです。

結論です。私達が日々学んでいる法華經の教えは、心身の健康や脳磨きに最高だ、ということなのです。



良い教えの話を聞きましょう。

全国の法音寺各支院・布教所では
毎月の講日の中で

三徳の教えを聞くことができます。

是非講日にご参詣いただき

教えを心にしみ込ませましょう。

❖ 今月の山首上人さまご親修日程

岡山支院	11月9日(土)	安城支院	11月10日(日)
大阪支院	11月23日(祝)	安芸津支院	11月24日(日)
明川支院	11月30日(土)		

有縁の支院・布教所に、ご自由にござ参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乗山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)531-5436
東京支院	2日・16日・23日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市城之崎4-7-3	☎(0538)321-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)861-4704
安城支院	10日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)761-2504
明川支院	11日・23日・30日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)321-1825
佐屋支院	4日・10日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0567)321-1825
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0586)721-7208
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(0568)221-5813
岐阜支院	4日・14日・18日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)245-2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(058)391-9733
大垣支院	1日・10日・21日	大垣市宝和町5	☎(0584)781-4854
関支院	13日・23日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)221-0776
平賀支院	2日・16日・23日	関市市平賀213-2	☎(0575)231-3771
郡上八幡支院	8日・24日	郡上市八幡町小野721-3	☎(0575)651-3933
四日市支院	2日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(059)3521-3633
上野支院	1日・10日・21日	伊賀市上野向島町3475	☎(0595)211-0127

☎ご連絡は本山事務局へ

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	4日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	10日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	3日・17日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	9日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)421-0175
岡山支院	7日・9日・23日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	2日・17日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	9日・24日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)62-5087
安芸津支院	2日・17日・24日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)45-4012
坂支院	9日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	3日・15日・17日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・24日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)44-5445
筑後布教所	10日・24日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)53-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)58-0742
田川支院	10日・24日	田川市春日町7-30	☎(0947)42-1819
名古屋地区	7日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・23日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)85-6860
亀岡布教所	11日・24日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)25-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)

高祖 目蓮大聖人 第七百五十遠忌
始祖 廣宣院殿安立大法尼 第百遠忌
御開山 泰山院目進上人 第七十遠忌

御報恩

五十萬卷 御報恩納經
妙法蓮華經

久遠偈

大乘山 法音寺

書写經典

久遠偈（如来寿量品第十六）

納經期間

令和4年1月1日より10年間

納經供養金

1冊2,000円



写經のまんが動画が
ご覧になれます

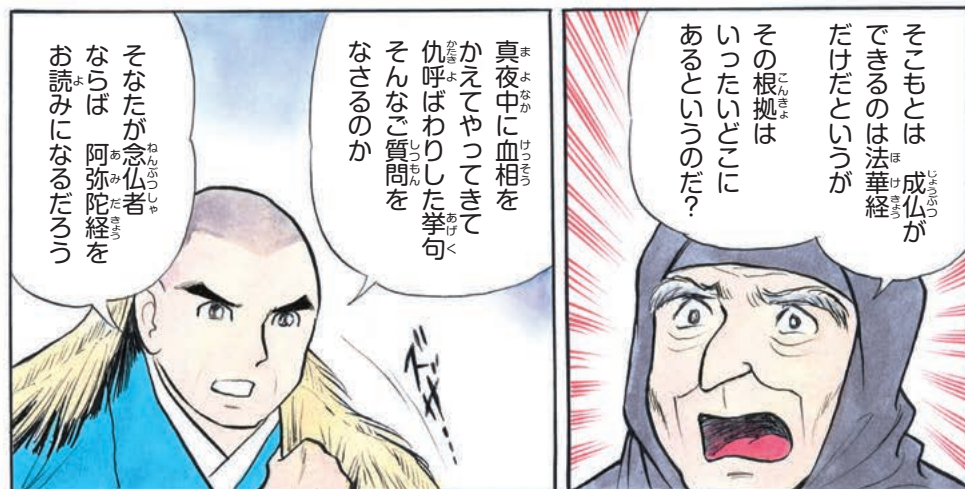
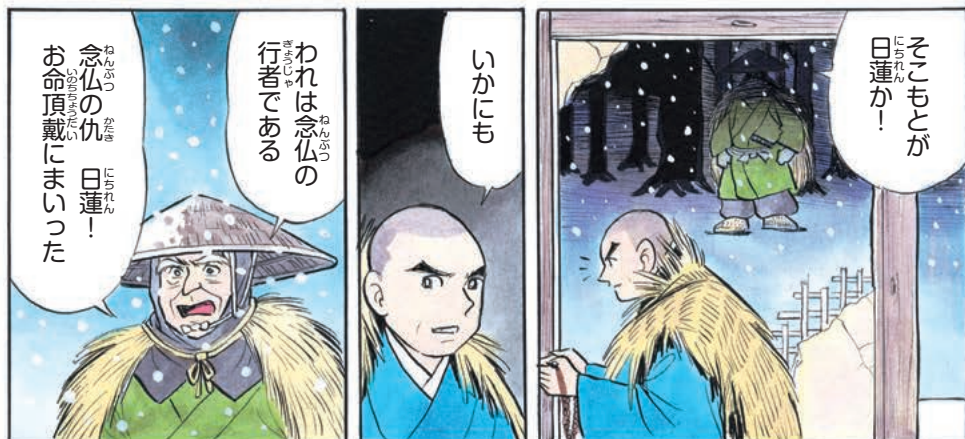
※納經帳のお求めは本山事務所受付または所属まで

に ち れ ん
日蓮さま

31 あ ぶ つ ぼう せ ん に ち に
阿仏房と千日尼







われわれ
我々の経を
知っているのか

そなた達がとても
大切に思っている
阿弥陀経の中に
出てくる舍利弗尊者を
知っておられるな

その舍利弗尊者は
法華経によって
成仏し華光如来と
なるのですぞ

阿弥陀経では

五濁の悪世であるこの娑婆世界で
成仏するのではなく彼方の浄土にて救われる

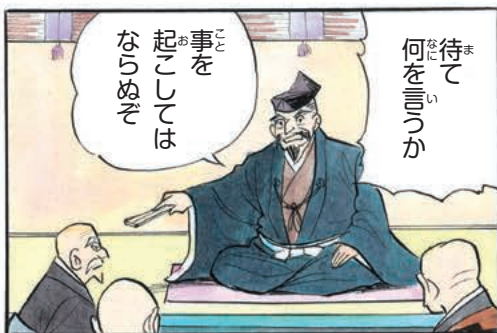
舍利弗尊者の
成仏は書かれていない

それに対して
法華経にはこうある

もし法を聞くことがある者は
一人として成仏しない者はない
即身成仏









阿仏房と千日尼

阿仏房の本名は、遠藤左衛門尉為盛といい、承久の乱の後、順徳上皇が佐渡に送られた時に同行した武士でした。上皇が亡くなると夫婦ともに仏門に入り、御陵を守って暮らしていました。日蓮聖人が佐渡に流されてきた時、念仏宗の仇であると知り、塚原三昧堂の日蓮聖人を襲おうとしましたが、逆に折伏され、法華経に皈依します。それ以降は妻の千日尼と共に日蓮聖人をお世話しました。この夫婦は塚原三昧堂の日蓮聖人にとっては救世主となりました。日蓮聖人が身延に移ってから、三度にわたり佐渡から訪ねたと言われています。

蓮華王山妙宣寺は、阿仏房夫妻が住んでいた家の跡地に建てられました。



蓮華王山 妙宣寺
両津港から車で約30分 竹田橋（国仲線、金丸線）から徒歩20分
佐渡市公式観光情報サイトより



お寺の本棚



『御開山上人御遺稿集』



心の建て直し

昔お釈迦さまは面白い譬えを説いておられます。

「お客を迎える時、牛の乳をご馳走しようと思って搾ったけれども量が足りない。そこでもう少したくさんしてからお客を

招待しようと考え、翌日も乳を搾って前の乳と一緒にした。しかし、まだ足りない。その翌日も、またその翌日もそういうようにして、七日も八日も搾って溜めて置いて、充分の量になったので出して見たらスッカリ腐っていた」

こういうことになってはいけません。お客を招待しようと思ったならば、その日か、あるいはその前日に牛の乳を搾って、もし足りなければ他から取り寄せるなり、何とか工夫すべきであります。少しづつ搾って、溜まってから人に飲ませようと思うと、溜まった時には腐ってしまっているであります。

それと同じことで、自分も人に施したいが、もう少し溜まってから、と思うと、ついに施しをせずして終わってしまうことが多いのであります。



教えを人に説くにしても、すっかり覺ってから人に説こうと思っていると、覺り切らないうちに死んでしまうかもしれません。だからお釈迦さまは「むやみに溜めて置かずに、少しでも溜まったらすぐ分けてあげなさい」というように教えておられるのであります。だから、自分で覺ることに努めるとともに、少しでもわかったらそのわかったことを、力に応じて他の人にも説いて、その喜びを分けてあげるよう心がけねばなりません。そうすると、自分がもっと充分に修行しなければならぬ、ということを感じ痛感するようになります。人に教えを説くとか、道を説くことを多少なりともしてみると、自分の足りないことがわかってくるのです。そして、また修行し、また反省し、善いことを行うなれば、段々その人の一挙一動がその周囲に感化を与えるようになるのであります。そうして仏さまのように、口に説くことも、手の動かし方や足の踏み方までも一切、申し分がなくなってくるのであります。その境界を「覺行円満の境界」というのであります。この三つを合わせて三覺とも申し、自ら覺り、他を覺らしめ、覺行円満となる、これが即ち仏の境界であります。

お互いに日常の行を仏さまの教えに則って修行し、早く心の建て直しをいたしましょう。正しく心の建て直しができますれば同時に日本の再建も必ず完成いたします。この心構えを持って信仰に精進いたしましょう。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

常寂光土への誘い (28)

無量義經 十功德品第三

善男子、第三に是の經の不可思議の功德力とは、若し衆生あつて是の經を聞くことを得て、

若しは一転、若しは一偈乃至一句もせば、百千万億の義に通達し已つて、煩惱ありと雖も、煩惱なきが如く、生死に出入すれども怖畏の想なけん。諸の衆生において憐愍の心を生じ、

一切の法において勇健の想を得ん。

「善男子よ、第三に是の經の不可思議の功德力とは…」

《第三、船師不思議力》

「この經を聞いて、その意味を理解したなら、それだけで数え切れないほどに多くの意味を明らかにすることができ、『煩惱ありと雖も煩惱なきが如く』で、迷いはまだ残っていても、毎日の行いに現れるところは迷いのない人と同じようになって、限りなく変化していく人生においても『怖畏の想なけん』で、その変化に負けないだけの心を持つことができる。そして『諸の衆生において憐愍の心を生じ』Ⅱ『仏の教え』を少しも知らずに、迷いに満ちた俗世間の生活をしている人々を深く憐れむ心が起きてくる」

「一切の法において勇健の想を得ん」とあります。一つの大きいなる結果を得るためには、目立たない努力

をたくさん積み重ねなければならぬのですから、勇健の想を生じなければなりません。少々むずかしいことがあっても腰を折らないように、人生は、苦しい所を乗り越えて初めて善い結果が得られるのであります。

壮なる力士の諸有の重き者を能く担い能く持つが如く、是の持経の人亦復是の如し。
能く無上菩提の重き宝を荷い、衆生を担負して生死の道を出す。

「体力の強い人は、いろいろな重い荷物を背負って遠い所に運んでいくことができる。み教えを信じている人は、そういった人に似ている。常に、そういう考えを持っていくことが大切である」。

「無上菩提の重き宝を荷い」Ⅱ「仏の智慧」を具えることを自分の理想としていくのです。それには、自分一人でどれだけ長い間坐わって考えていても、本当の覚りを開けるものではありません。「衆生を担負して生死の道を出す」つまり、大勢の人を救うために力を尽くす、その努力によって大きな力が具わるのです。人のためにしたことが結局、自分のためとなって、次第に凡夫の境界を離れていくことができるのであります。

未だ自ら度すること能われども、已に能く彼を度せん。猶お船師の身重病に嬰り、四体御まらずして此の岸に安止すれども、好き堅牢の舟船常に諸の彼を度する者の具を弁ぜることあるを、給い与えて去らしむるが如く、是の持経者も亦復是の如し。五道諸有の身百

八の重病に嬰り、恒常に相纏わされて無明・老・死の此の岸に安止せりと雖も、而も堅牢なる此の大乗經無量義の能く衆生を度することを弁ずることあるを、説の如く行ずる者は、生死を度することを得るなり。善男子、是れを是の經の第三の功德不思議の力と名く。

「自分はまた本当に迷いを離れていないから満足にはできないけれども、少しでもわかったところを人に教えて『彼を度せん』即ち、迷いの中を通り抜けさせるように力を添えてあげることができる。それは例えて見れば、船頭が重い病氣に罹って体が自由にならないけれども、航行に必要な道具は皆揃った丈夫な良い船があるから、他の人に命じて『船に多くの人を乗せてあげなさい。道具は皆あるから、それを使えば向こうへ渡れますよ』と、向こう岸に渡してあげると同じである。自分はまだ充分にできない事柄でも、人に教え、実行を励ましてあげることができる。『是の持經者も亦復是の如し』Ⅱ『仏の教え』を修行している人もその通りで、自分はいろいろ心に迷いがあり、『五道諸有』と言って、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間界から抜け出せず百八の重い病に罹っているけれども、『仏の教え』を人々に教え、弘める努力をすれば、聞いた人は大いに覚えることができて、良い結果を生ずる」と説かれ、これを「是の經を修行する第三の功德不思議の力である」と言われているのであります。



ひなた
wish your heart full of happiness.

季刊誌 年4回 1月・4月・7月・10月 発行

いつも喜びを持っていますか
生かされて、生きている

目次

- ・仲間く協力して
- ・言葉のチカラ
- ・きょうの一品
- ・みんなの川柳
- ・ちょっと幸せにな
- ・まちがい探し
- ・お気に入りのソング

目次

- ・その人の、心に
- ・夢ある大奮闘
- ・言葉のチカラ
- ・教えて！ひなた
- ・ちょっと幸せにな
- ・脳トレクイズ
- ・花言葉

目次

- ・一人よがりの幸せは、すぐメッキが剥けます
- ・みんなの川柳
- ・言葉のチカラ
- ・教えて！ひなたさん
- ・ちょっと幸せになる話
- ・脳トレクイズ
- ・花言葉

ひなた

wish your heart full of happiness.

2024 autumn

縁ある人に
ぜひさし上げてください

知っているようで知らなかった!?

法音寺のこと

番外編

私の感じた「鈴木修学先生の児童教育」

社会福祉法人昭徳会・駒方寮副寮長 津島将一

昭和63年5月3日（火）

法音寺開山堂二階にて講演より

（昭徳会に）勤める前に、私は（法音寺の）奥座敷で面接試験を受けました。その時、私は大変な緊張感を身に感じました。その時の修学先生（御開山上人）の表情は、あの優しい眼差しとあの笑顔で、次のようにお話しされました。

「社会福祉施設で働きたいといって、色々な人がよく来るが、なかなか長続きがしなくてね。最初は誰でも『一生懸命働く』と言うが、直ぐにやめてしまう。社会福祉施設で働くことはなかなか大変なことだが、辛抱できるかな？ 子ども達は、色々なハンデを持っている。だからなかなか心を開いてくれないが、思いやりの心で接すれば、必ず心を開いて

くれるよ。とにかく、腹が立つても叱らずに、自分の言うことを子どもが聞いてくれるようになるまでが辛抱だよ。子どもの指導は、嫌なことが多いが、明るく、笑顔を忘れないようにしなさい。神経質にしかめ面をすると、周りが暗くなり、施設の中が陰気になる。時には、子どものことで色々な関係機関へ行かなくてはならないが、笑顔と誠意で人と接したら、困難な問題も解決しますよ。とにかくやってみなさい」

私は合格でした。私は辛抱すること、思いやりの心で子どもに接すること、後は誠意で事に当ることを心に誓いました。

昭和30年頃の駒方寮と誕生日会

私が勤めた頃の駒方寮は、現在本堂がある場所にありました。建物は、食堂、講堂のほか三棟の寮舎があり、東に「小菊・小鳥」、南西に「白百合・駒鳥」、北側に「鈴蘭・小鳩」がありました。一つの棟に「花と鳥」の名前がついていました。各棟にそれぞれ二人の保育士さんがいて、子ども達は、各部屋へ入寮して生活していました。寮長先生（即ち修学先生）を「お父さん」と呼び、年配の保育士さんを「お母さん」と呼び、若い保育士さんを「お姉さん」と呼んでいました。入寮定員は80名で、中学生が40数名、小学生が

30数名おり、6名の保育士さんがこの大世帯の生活の世話をしていました。

当時は、物資に恵まれず、子ども達の服も継ぎの当った服やズボンをはいて生活をしていました。お寺で生活していた皆さんもみんな質素な服装でしたが、大人も子どもも、皆明るく生活するように心掛けたものです。当時の子どもの達の家庭環境は、戦災孤児とか、戦争未亡人の母子家庭の子ども達や、貧困家庭の子ども達が多かったように思います。

修学先生は、朝夕寮へおいでになるのが日課でした。子ども達の様子を見てみると、（修学先生が）寮においでになったのがすぐにわかります。それは、子ども達が勉強したり、遊んだりしていても、修学先生の姿を見つけると、お祭り騒ぎのように「お父さん、お父さん」と言って、何をしていても飛んでいきました。子ども達が色々と話し掛けると、「そうかそうか」とか「よしよし」と言って、子ども達の話すことにうなずいておられました。

この寮では毎月一回誕生日会があり、その月に生まれた子ども達のお祝い会がありました。（修学先生は）どんなに忙しくても、必ずご出席になり、子ども達と一緒に夕食をとられ、食後は誕生日を迎えた一人ひとりに鯛一匹をお祝いに贈られました。鯛と言っても、小麦粉で作った蒸パンのようなものですが、きれいに着色してありました。その後、子ども達に紙芝居をしてくださいました。

毎月27日は子ども達にとって一番楽しい日でした。27日はお寺の講日ですが、（修学先生は）多忙の中、時間をさいて必ず来られ、子ども達と時を過ごされたのです。寒い時は、子ども達に「今寒い日が続きますが、風邪を引かないようにしなさいよ」と言われ、また職員には「お世話をお願いする職員の皆さん、子ども達をよろしくお願いします」とおっしゃって、一にも二にも子ども達を大切に育てる気持ちで一杯でした。このように、子ども達の元気で明るい姿を見ておられたのが、一番印象に残ってます。

子どもとスポーツ大会

当時、毎年夏になると、県内の施設の野球大会が愛知県主催で行われていました。もちろん、駒方寮の子ども達も参加しました。当時、寮舎の各棟にご宝前があり、朝夕のお勤めがありました。日頃は形だけのお参りですが、試合の前日頃になりますと子ども達の様子が変わって、朝夕のお勤めに身が入ってきます。前日になると仏壇にグローブ・バット・ユニフォーム・帽子等、野球道具を並べ、子ども達は一生懸命にお願いしていました。その時のお願いが、「お父さん、明日の試合で打てますようにお願いします」「お父さん、僕明日の試合であがらないようにお願いします」「お父さん、明日の試合に勝てますよう

に……と、子ども達が一心にお願いをする光景を見たものです。

普通、家庭で子ども達が試合に行くのに、このようなお願いを親にするものでしょうか……？ この子ども達の「お父さん」（修学先生）は、子ども達にとっては何でも聞いてくださるスーパーマンのような存在であつたのでしょうか。

勉強のできる子、できない子の差別なく、「便所の汚れも、人の心の汚れも少々のことでは、なかなかきれいにならないよ。それからね、人がトイレを使う時、必ずきれいな所を探すよ。人の気持ちを素直に受け入れるためには、（心を）きれいにしておくことが大切だよ」とおっしゃいました。「とにかく、人の嫌がることは率先してやること。他人が喜ぶことをすること。このような行動や行いが、人の心を動かす源なのだよ」というお話を聞いたことがあります。

ある兄弟

児童福祉施設の中に、教護院という施設があります。この施設は非行少年や、非行を犯す児童が入所する施設ですが、次の例は、その施設から逆に養護施設へ来た事例です。

当時、「小学校五年生と中学校一年生の兄弟を、教護から逆に養護施設へ措置変更して

指導をしてほしい」と、児童相談所より依頼がありました。修学先生は簡単にお受けになりました。

両親が離婚した家庭の子達でした。父親が勝負事に凝り、働かないという理由で離婚したそうです。男三人の兄弟で、一番上の子は17才で鑑別所に入所中。中学校一年生の兄と小学校五年生の弟二人で入寮して来ました。

そもそも、二人とも怠学と盗みをして教護院へ入っていたのですが、生活も落ち着き、非行も治まったということでした。それでも、この二人を保育士さんがなかなか快く受け入れてはくれなかったのです。教護院へ入っていた子ということで、「相当悪い子だ」とみんな思っていたのです。保育士さん達はお互いに譲り合って、担当がなかなか決まりませんでした。その中で若い保育士さんが、「私が生活面を見ますが、指導面はお願いします」と引き受け、二人の行き先はやっと決まったのです。

入寮してからが大変でした。この兄弟は無断で寮を飛び出すなど、なかなか寮生活に慣れてくれません。夕方の5時すぎ、通勤ラッシュで賑わう松坂屋の前から栄町の間を、二人を捕まえるために追いかけてこしたこともあります。通勤のサラリーマンや、松坂屋の守衛さんにも協力してもらって保護したこともあります。二〜三回飛び出した時、二人に「なぜ逃げるのか?」と聞いたところ、「落ち着かない」と言います。その理由は、

「みんな真面目に勉強するので、生活に馴染めない」ということでした。兄の方が、それが特にひどく、「僕は元の教護院の方がいい」と言うので、相談所の先生や教護院の院長先生とも相談して、兄の方は教護院へ帰しました。みんなは、「変わった子だなあ…。教護院が嫌と言う子は大勢いるが、教護院が好きだと言う子は珍しい…」と言っていました。兄の方の問題は片づいたのですが、弟の方の問題が残りました。弟に「何がしたいか？」と聞いたら「勉強したい」と言ったので、勉強に力を入れて取り組んだところ、学習の遅れを徐々に取り戻していきました。でも、鋭い目と、人の様子をうかがう目は少しも変わりません。

中学生になった時、この少年を少しでも明るくしてやりたい。そのためにはどうしたらよいかと色々悩んでいたところ、ふと自分の脳裏に浮かんできたのが、修学先生の「トイレのお話」でした。そこで、二人で便所掃除をすることにしました。白い便器が尿酸の固まりで、黄色く汚れた便器だったのです。彼は最初、嫌な顔をしておりました。

「先生、ちょっと待ってください。僕、□にタオルをしてくる」と言っただけでぐるぐるとタオルを巻いて来ました。最初は恐る恐る薬品を使いながら、擦っていました。その内に便器が少し白くなってきて、黄色い固まりがごそと落ちはじめたのです。その時、彼の顔をそっと見たら、目は輝き、それまで見せたこともない、少年らしい笑顔を見せて「やったあ

し、きれいになってきたあ……」と言って、彼は笑ったのです。

私は「しめたっ」と思うと同時に、修学先生の言葉を思い出しました。人の心の汚れ取りの術はこれだな」と思いました。最初嫌々やっていたこの少年が力強く、身の汚れるのもかまわず、一生懸命掃除を始めたのです。

お陰で便器はきれいになり、彼は便所掃除を喜んでやってくれるようになりました。このことを夕礼の時、みんなに話してやり、みんなも彼に「ありがとう」と言ったのです。彼はみんなに、やっと認められたのです。それから、みんなと一緒に生活しました。彼は野球が好きで、暇があれば野球をして遊んでいました。また、勉強も好きで、みんなが寝た後、押入にスタンドを持ち込んで勉強しておりました。成績もぐんぐん上がり、中学校の校長先生にほめられて帰って来たことがありました。

「先生、今日、僕、学校で校長先生に校長室へ呼ばれ、びくびくしながら入って行ったら、『君、どのようにして勉強しているの?』と聞かれたので、『みんなに迷惑の掛からないように、みんなが寝た後、押入で勉強している』と言いました。すると校長先生は、『そうか、これからもしっかり頑張らなさい』と言って、握手して、それからタオルをもらった』と言いました。みんなに認められ、ほめられることが、こんなに人を変えるのか」と、改めて修学先生の「ほめる教育」の良さを痛感しました。

この少年は卒業後、「野球のできる会社へ入りたい」ということで、中区にあるポンプメーカーへ就職し、夜学へ通っておりました。会社の野球部の中心選手になり、全国大会で優勝しました。チームの強打者であり、エースとして活躍していましたが、練習のため、夜学に通うことができず、中退しました。その後、工場が岡崎へ移転し、再度夜学へ通い、卒業しました。現在は地方公務員になっています。余暇は同僚と野球もしています。現在結婚をし、家も購入して元気に生活しておりますが、忘れた頃に時々訪ねてきます。その時、彼は「先生、僕、結婚後も毎日トイレの掃除を続けています」と話してくれました。修学先生のトイレ掃除の教えが、今もお、生き続けていることを私はうれしく思いました。

親の罪を背負いながら立派に生きる子ども達

昔から、「金がもの言う世の中」において、お金が何より大切と考える人は少なくありません。良い例ではありませんが、自分が死刑になるのも考えずに、人を殺してお金をもらうなど、決して許されないことをする人もいます。過去に、ある姉妹が入寮しましたが、保険金目当ての殺人事件による犠牲者でした。入寮する前は、何不自由なく育てら

れていたのですが、ある日突然、父親が殺されたのです。警察の捜査が進むにつれて、母親と仲間が殺害した事件であったことがわかりました。

私ども職員は、何気なくテレビや新聞のニュースを見ますが、このような世相の動きがわかるのは、その世相の事象に応じた理由で子どもが入ってくるからです。事件等は、経過が報道されるので、職員は神経質になります。電源を切ってテレビが映らないようにしたり、新聞記事を切り抜いたりして刺激を防ぎます。例えば、殺人事件、傷害事件、サラ金地獄、捨て子、母の蒸発等、親の罪を子どもが背負っているのです。修学先生がおっしゃったように、子どもは確かに色々なハンデを持っています。しかし、寮生活に馴れてくると、やっと本当の心を聞かせてくれます。どんな罪を犯した親に対しても、その子ども達は、決して親を恨みません。時に応じて話をしていると、社会人になった時、必ず親のもとへ面会に行きます。

二人の姉妹は、元気に働いております。

「先生、先日母の所へ面会に行ってきました。大変元気でした」とか、「私達二人が元気に働いているので安心してくれました」と言います。

「本当に優しい子に育ってくれて良かった」と思います。人に言えない苦しみを乗り越えて、姉は結婚しましたが、その花嫁姿をこの母に一目見せてやりたかったと思います。鉄

格子の中で、そつとその日を送った母はどんな気持ちだったのでしょうか…？一生社会へ出てくることのできない母親…。この親子の不幸せは、ちよつとした母親の間違った物欲から起きたように思います。

事例（一）

離婚母子でしたが、その母親の家出により入寮した子が卒業後にくれた手紙の一部です。「…私は、結婚して今非常に幸せに生活しております。彼（主人）は大変私を可愛がつてくれます。ところで、数力月前、私は母親になりました。子どもって大変可愛いもんですね、一日一日と成長していく子どもを見ていたら、一日中楽しいものです。主人も仕事から帰ってきたら、すぐに子どもの顔を見ています。ところで先生、このような可愛い子どもを、どうして私の母は、捨てて逃げたのですか…？ 私は、このような可愛い子どものためなら何でもできると思います。それなのに私の母は、なぜこの私を…と思うと非常に残念です。私はどんなことがあっても、母のようになりたくありません。施設でお世話になった私ですが、寮長先生はじめ、諸先生方にここまで育ててくださったことを、今改めて御礼を言います。また、私の故郷である駒方寮を忘れません」

このような手紙をもらってほっとしています。修学先生の精神を知らぬ間に身につけて、我が子を大事に育てながら一生懸命に生きているんだなあ」と思いました。

事例（二）

私の家へ時々卒業生が遊びに来ます。今年の三月のことです。三人の女の子がやって来ました。小学生の頃からよく知っている子ども達です。この子達も年頃になって、大変きれいになり、可愛くなりました。ボーイフレンドもできて、「そろそろ結婚かね?」と聞いた途端、三人とも一瞬間を曇らせました。「どうしたの?」と聞くと、「あのね、良い人と出会うけど、いざ結婚という話になって『貴方の両親は?』と聞かれると、自然と避けるようになるんです」と言います。「そのようなことは気にしないで思い切って話してみなさい」と言うと、「うん、でも…」と言います。私どもは簡単に言いますが、本人達にとっては、私どもが想像するよりもっと深刻に考えているのだと思います。彼女達は、「今度は思い切って話してみます」と言って帰りました。私は、彼女等の幸せを祈ってやりたいと思います。苦しみながら生きている彼女等を思うと、「捨て子」だけは絶対やめてほしいと思います。

修学先生が子ども達に次のようなお話をされたことがあります。

「この世の中にはどんなにお金を出しても買えないものがあります。それは、人の心、つまり精神です」

現在、我が国は物質的に大変恵まれ、物質文明に人々はひたっています。何か欠けているものがあるように思います。いじめ、登校拒否、殺人事件、生み捨て御免のロッカー事件等は、修学先生の言われた、優しい心、美しい心や崇高な精神があつたなら起きないように思います。お教えいただいた精神の修養がいかに大切か、ということを感じずこの頃です。

まとめ

修学先生が私達に仕事を通じてお教えくださったことは次の五つです。

一つ目は、**仕事、即ち指導は、辛抱するということ**です。これは、堪忍をすることだと思えます。

二つ目は、**人に接する時は、優しい心遣いや、思いやりの心が大切であるということ**

です。つまり、慈悲心だと思います。

三つ目は、〃何をするにも真心が大切だということ〃です。即ち誠意を持って、物事に対処するということだと思います。

四つ目は、〃（子どもを）ほめること〃だと思います。ほめられることは、人に認めてもらうことになります。自信がきます。また、心も変わります。

五つ目は、〃自分の体を動かすことを惜しまないこと〃だと思います。このことは、前述の四つを頭の中だけで考えるのではなく、また、心の中で思うのではなく、一番大切なことは、よく理解して、身につけることだと受け取れます。簡単に言えば「体得」ということではないでしょうか。

私は、これからも「体得」していきたいと思います。また、後輩の職員にも伝え続けていかなければならないと思います。



福祉の ひろば



SINCE 1912
SHOTOKUKAI



幸せのお手伝い

～A君親子との出会い～

インクルーシブ保育を

実践した日々

A君ご家族との出会いは、私が1歳児クラスの担任をしていた頃、途中入園児として入園してきた7月でした。A君は身体や知的発達に遅れが見られたり、こだわりが強かったり、動き回ったりするなど、さまざまな特性が見られました。

私は、2歳児クラスでも引き続きA君の担任となり、さまざまな先生方の協力や専門家の先生の助言などをいただきながら、A君にもできること

を増やしたり、楽しめること、A君とクラスの子ども達との関わり方などを模索しました。食事、排泄、簡単なルールを理解するなど、2歳児なりにできることが少しずつ増え、その都度、保護者の方とお話しし、一緒に成長を喜び合いました。

クラスの子ども達も、小さいながらも優しく温かい接し方を自然な感覚でしてくれていて、感動したことを覚えています。偏食でなかなか食事が進まなかったA君が、自分でスプーンを持ち、給食を全部食べられた時には、「Aくん、すごい！」と周りにいた子ども達と一緒に喜んでくれ

ました。その光景は、今でも目に焼きついていま
す。保護者の方とも送迎時や懇談などでさまざま
なお話をさせていただき、できるようになったこ
とをとともに喜び合うと同時に、お子さんの育てづ
らさなどと同じ合う日頃の様子をお聞きし、お
困り事などで私にできるアドバイスをさせていた
だきました。その後、3歳児で他園に移ることと
なり、当園を退園しました。しばらく後、街のス
ーパーで偶然A君親子に会いました。その時、「今
も元気に保育園に通っています。光徳保育園でで
きることをたくさん増やしてくださり、本当にう
れしかったです」とお話しくださいました。その
時に、「保育中は大変なこともたくさんあったけ
れど、子どもの育ちを保護者の方と一緒に見守り、
小さなこと一つひとつをとともに喜び合うことが、

少しはできていたかな」と思い、うれしかったで
す。今でもそのことは、私の保育観において大切
な柱の一つとなっています。

光徳保育園 保育教諭 森澤 育子



*インクルーシブ保育とは…
障がいのあるなどにかかわらず、すべての子が一緒に保
育され、個人の違いを認め合う保育のこと

交流も深められた内定式

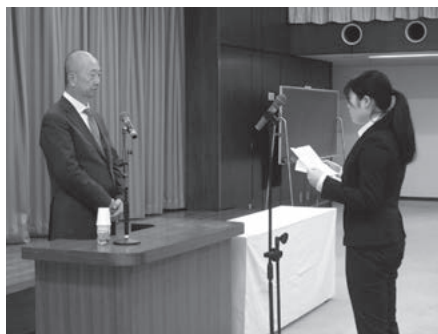


写真提供・昭徳会

社会福祉法人 昭徳会
～令和7年4月採用内定者16名参加～

令和6年10月5日、法音寺にて「令和6年度採用職員内定式」が開催され、16名の内定者が出席しました。直前まで雨続きの天気でしたが、内定者を祝福しているかのように、この日は秋晴れに恵まれ、穏やかで過ごしやすくなりました。

開式にあたり、鈴木正修理事長（法音寺山首上人）より「昭徳会は明治42年1月に杉山辰子先生が創立されました、仏教感化救済会内に作られた育児院がその淵源であります。杉山先生は仏教最高の經典である法華經に説かれる菩薩行の実践として社会福祉事業を始められました。菩薩行とは、わかりやすく言いますと、インドのマザー・テレサがされたような行いです。自己の利害を超えて社会の弱者のために尽くすということです。マザーが言っておられる言葉で私が非常に印象に残っている言葉があります。それは、『どんな悲惨な境遇の人でも最後に私達の看護を受けて、この世に生まれてきて良かったと感じてもらいたいです』という言葉です。我々に置き換えるなら、『昭徳会の施設に入って本当に良かった』と利用者の方々に感じていただけるようにす



ることです。それにはまず、皆さん一人ひとりがこれから研鑽を重ねられ、利用者の方々から『あなたに会えて良かった』と言われるような職員になっていただくことだと思えます」とお言葉が贈られました。鈴木理事長からのお言葉の後、一人ひとりに内定証書が手渡されました。

内定証書授与後、内定者代表として青山脩生さん（愛知淑徳大学・小原寮配属予定）より、「私達は、まもなく学生から社会人へと新たな道へ進んでいきます。この先は、福祉という社会貢献度の高い仕事につきますが、精一杯貢献し自らを立派な社会人として成長させていきたいと思えます。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします」と力強い誓いの言葉が述べられました。

内定式終了後は、食事会を開催しました。食事会の途中で自己紹介を行い、内定者一人ひとりに意気込みをスピーチしてもらいました。皆さん緊張しながらも堂々とスピーチをしており、それぞれの意気込みの強さを感じました。

食事会後は、福祉セミナーに参加してもらいました。P・I・C・F・A代表の原田啓之氏の講演『障がい者施設でアートを仕事にする』アートのだけでなく、人生も広がるように』を聞いて、福祉活動の幅広さ、個性の尊重、そしてワクワクすることへチャレンジする大切さを感じ取ってもらう場となりました。

オンラインで内定者同士の交流を図ってきましたが、直接、内定者同士が対面するのはこの場が初めて。そのため、最初は全員が緊張した様子でしたが、時間が経つにつれ、内定者同士で会話をする様子も見られ、和やかな雰囲気の中で帰ってまいりました。

来年4月の入社式に、内定者の皆さんと出会えることを楽しみにしています。

法人本部事務局 事務員 古田 優佳

第36回 社会福祉セミナー in 静岡開催のご案内

～日本福祉大学～

学園創立70周年記念事業として実施する、第36回日本福祉大学 社会福祉セミナー in 静岡が11月17日(日)に静岡市内で開催されます。

日本福祉大学社会福祉セミナーとは、大学と同窓会、後援会の三者が主催する「日本福祉大学社会福祉セミナー」のことで、今年で36回目の開催となります。第1回目は1987年11月8日に広島市で開催しました。本セミナーは1976年から開催されていた本学社会科学研究所(現・福祉社会開発研究所)の「夏季大学」という取り組みから始まっています。

当時夏季大学は、卒業生を含む社会福祉関係職員の現任教育の場として、毎年名古屋市内で開催していましたが、名古屋市内にとどまらず「全国各地域でも開催を」という卒業生の声を受けて、大学と同窓会が主催する「社会福祉セミナー」が誕生しました。以降、毎回開催地となる地域同窓会を中心に実行委員会が組織され、社会福祉をめぐるその時々テーマを設定し、地域独自の特色も加味したセミナーの実現に向け、地

域同窓会、大学等が一体になって回を重ねてきました。その後、2008年からの学部・学科増に対応して福祉を軸としつつも幅広いテーマを扱うセミナーとして開催することとなり、主催に大学後援会も加わり開催することとなりました。同窓会、後援会の会員を中心に一般の皆さまにも公開し、直近10年間だけでも約3000名以上に聴講をいただいています。

今年度は静岡から、対面でもオンラインでもご参加いただけるハイブリッド方式で、「福祉のバトンを次世代へ」というテーマのもと、日本パラリンピック委員会委員長河合純一先生の記念講演や、次世代の福祉を担う若者達の実践発表が行われます。このセミナーを通じて、本学が創立70周年で掲げる「Well-being for All」、すなわち「すべての人にとっての幸せ」の実現について、皆さまとともに考える時間にできればと考えています。以下要領で開催いたしますので、ぜひ皆さまのお申し込みをお待ちしています。

〈日時〉

2024年11月17日(日)
12時45分～16時30分

〈会場〉

清水テルサ テルサホール(静岡市清水区島崎町223)
〈プログラム〉

オープニング

静岡県立駿河総合高等学校和太鼓部による演舞

第Ⅰ部

記念講演「バラスポーツを通して考える共生社会」

河合純一氏

(日本パラリンピック委員会委員長 競泳金メダリスト)



河合純一氏ご紹介

1975年静岡県浜松市生まれ。15歳で全盲となる。1992年バルセロナオリンピック大会から2012年ロンドンパラリンピック大会まで水泳日本代表として、6大会連続で出場し、金メダル5個を含むパラリンピック日本人最多の通算21個のメダルを獲得し、日本人初のパラリンピック殿堂入りを果たす。2020年より日本バラスポーツ協会日本パラリンピック委員会委員長。東京2020パラリンピック競技大会日本代表選手団団長、北京2022パラリンピック冬季競技大会団長を務めた。

第Ⅱ部

高校生の(ふくし) 探求・同窓生による実践発表
ファシリテーター

小松理佐子氏(日本福祉大学 副学長)

三田忠男氏(静岡県地域同窓会 顧問)

発表高等学校

静岡県立富岳館高等学校・静岡女子高等学校・

静岡県立駿河総合高等学校

発表同窓生

久保田和宏氏・古橋誠氏・高橋愛氏

〈企画詳細・お申し込み先〉

日本福祉大学静岡セミナー

検索



日本福祉大学 後援会事務局(教育文化事業係)

〒460-0012

名古屋市中区千代田5-22-35

日本福祉大学 名古屋キャンパス

TEL・052-242-3045

FAX・052-242-3046

幸せの種まき

自分のできることで
周りの人を喜ばせ
かづけていきましよう

私が生きることによって
他の人を少しでも力づけていこうと
法華経は教えています

大乗山 法音寺

編集後記

今月号は特集記事として以前昭徳会・駒方寮に長年勤められた津島副寮長の講演録（38頁）を掲載いたしました。津島さんのご家族は安芸津の信者さんで、津島さんは御開山上人が創設された中部社会事業短期大学（現・日本福祉大学）の第一期生です。

大学卒業後、昭徳会に入職。御開山上人は津島さんをよく散歩に誘い、その中で福祉人としての生き方を注ぎ込まれたといえます。施設の子ども達に「お父さん」と慕われた御開山上人がご遷化された後、津島さんは「御開山上人の子ども達」に生涯を捧げることになりました。亡くなる直前まで施設で子ども達とともに過ごした津島さん。ご葬儀では、駒方寮で育った多くの人々に見送られたそうです。津島さんに捧げるため、御開山上人が作られた歌をみんなで歌った時には、涙で歌にならなかったといえます。

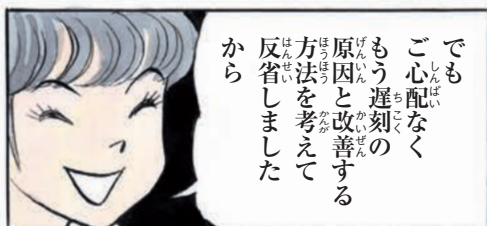
時代は移り変わっても、世の人々の価値観や社会的弱者が置かれる現実はそれほど大きく変わっていません。私達は津島さんから学び、一隅を照らすことのできる生き方を少しでもできるようにしたいものです。

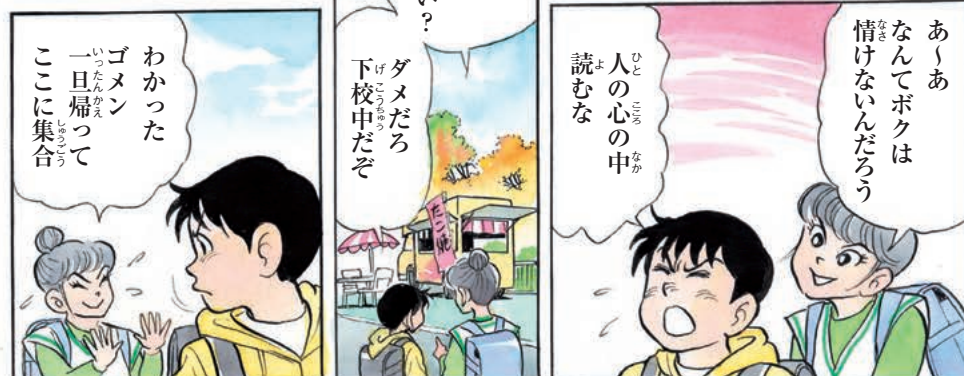
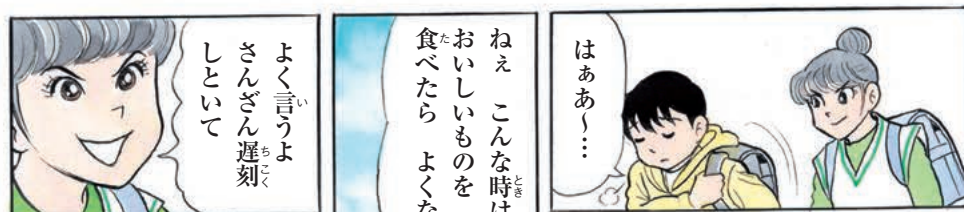
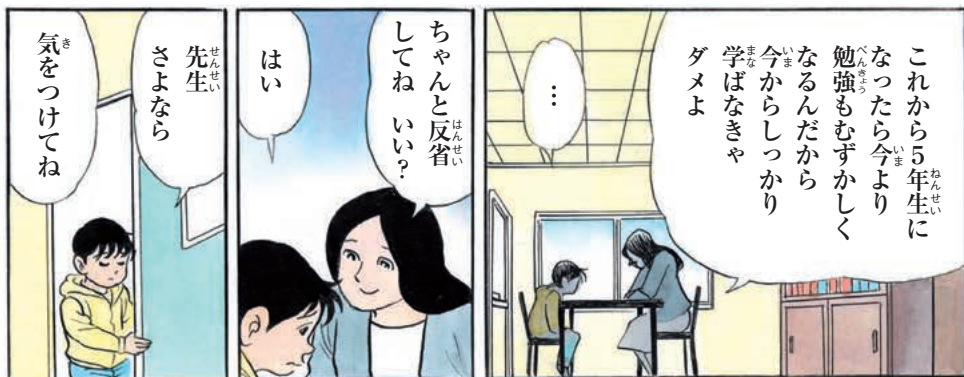


反省は持ち帰り禁止

竹中 淳







気をつけて
熱いから



それより家に
帰って帰らないって
言ってたけど何？



反省よ 先生に
叱られて 私その場で
反省したの
遅刻の原因は夜ドラマ
を観ていたからなの

で 改善策として
録画して翌日観る
ことにしたの
解決すればもう
反省しなくていいでしょ



蓮は家まで
帰って帰って
後悔して
いつまでも
落ち込むことが
反省だって
思っていない？

そんなの
エネルギーの
無駄使いだよ



はい 半分コ
どうぞ



6個のたこ焼きを
ふたりで分けて
3個ずつだよ



蓮が今日 使う
エネルギーを3個と
するよ

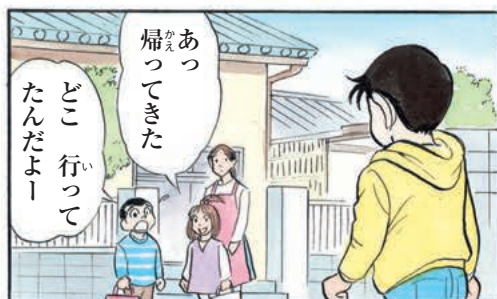
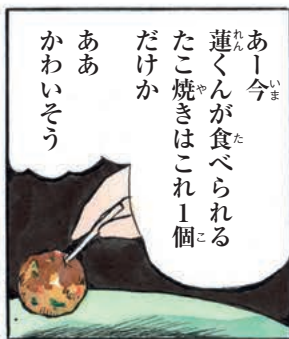
1個を もうすんで
しまったことを
いつまでも クヨクヨ
するエネルギーに
使います

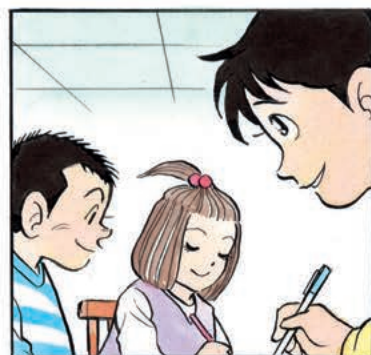
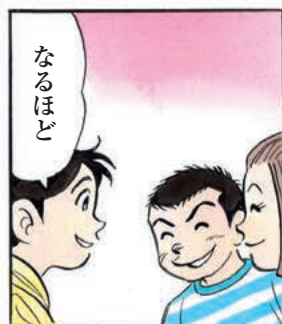
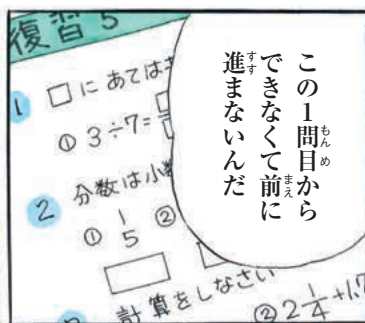
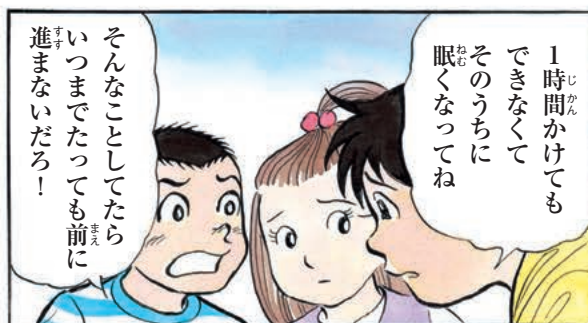
もう1個はこれから
5年生になってからの
未来を心配するのに
使います



あ 待った
いいこと
思いついた
聞いて！









みんな
ちよっと聞いて

いま
今みんなが使ってる
タブレットのアプリに
不具合が
見つかりました
各自アップデートして
ください

わからない人は
わかる人に手伝って
もらって!

アップデート?

アップデートって
なに?

故障なの?

不具合を
改善する
ことだよ

夢ちゃん
わかる?

うん ちよっと
待って

不具合は
よくあるのよ

こうして
アップデート
すれば:

こうすれば
いいんだ!

ホラこれで
OK!

不具合は
アップデートで
改善!

失敗しても
そのつどアップデート
していけばいいんだね

おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





悦可衆心

相手を満足させればすぐ喜びがくる
相手をいたわれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂

《山首上人の大修行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています



SNSでつながる法音寺



法音寺公式

facebookで

毎朝7時

『一日一言』

配信中!!

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日

法音寺メールマガジン

配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて

法音寺チャンネル

開設中!!

[https://www.youtube.com/
user/houonjmovie](https://www.youtube.com/user/houonjmovie)

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索



法音寺の社会福祉・教育事業



徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市中区駒方町4-10
TEL (052) 831-5171
<https://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL (0569) 87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>



法音・令和6年11月号・No.661・令和6年11月1日発行

発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会

非売品／印刷・(株)一誠社